

総 第 1078 号

平成25年11月 7日

新潟県知事 泉 田 裕 彦 様

加茂市長 小 池 清 彦

加茂病院全面改築等検討委員会が策定した「新潟県立
加茂病院整備基本計画」に対する意見書

標記について、下記のとおり意見書を提出いたします。
何とぞよろしく御高配下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 このたび「新潟県立加茂病院整備基本計画」の策定を行った「加茂病院
全面改築等検討委員会」には、加茂市にあつては、加茂市医師会長のみが
入っており、加茂市長は入っておりません。医師会長としては、三条市医
師会長まで入っているのに、加茂市政を担当し、加茂市民を代表する加茂
市長が入っていないのは、著しい片手落ちであり、当委員会は、著しい欠
陥委員会であるといわざるをえません。
- 2 従つて、当委員会が策定した「新潟県立加茂病院整備基本計画」は、著
しく妥当性を欠くものであり、現実にその内容は、極めて不十分かつ不適
切なものとなっております。

- 3 即ち、当基本計画は、医師の都合を中心として策定されたものであり、市民・住民の幸福を中心として策定されたものとは、言い難い内容をたくさん有するものとなっております。
- 4 当基本計画は、そもそも麻酔科を置かないことになっており、巨額の金をかけて、これだけ立派な病院をつくりながら、甚だ不適切なことであり、加茂病院は欠陥病院となります。
- 5 当基本計画は、14科を基本とするとしているにもかかわらず、神経内科、皮膚科及び放射線科には、常勤医師を置かないことになっており、巨額の金をかけて、これだけ立派な病院をつくりながら、これまた甚だ不適切なことであり、加茂病院は欠陥病院となります。また、費用対効果も低いことになり、大問題であります。
- 6 現在休止中の小児科、脳神経外科、外来のみの産婦人科、眼科、泌尿器科については、常勤医師を配置するよう「努力します。」となっております、単なる努力目標にしかになっておりません。私が確かめたところでは、当委員会では、あまり力を入れず、単なる「努力目標」にすることにしたそうであります。これでは、これらの科に常勤医師が置かれる保証は全くなく、ほとんど常勤医師が配置されなくなる公算が大であります。この結果、巨額の金をかけて、これだけ立派な病院をつくりながら、費用対効果の極めて低い、大欠陥病院ができる公算が極めて大であります。
- 7 当基本計画では、「地域に開かれた病院」と「地域連携機能」と「在宅医療の充実」と「医療連携」と「保健・介護・福祉との連携」を掲げながら、肝心の加茂市の3つの特別養護老人ホームに対する往診の支援ができる文言を掲げておりません。
- 8 3つの特別養護老人ホームに対し、週1回午後の診察をお願いする加茂

市長の要望について、遠藤委員長は、五十嵐加茂市医師会長に対し、加茂市医師会が加茂市の3つの特別養護老人ホームの往診を担当できるかどうか問うたそうであります。これに対して、五十嵐加茂市医師会長は、それはできないと答えたそうであります。これを受けて、遠藤委員長は、この問題に触れないことにしたそうであります。

9 加茂市以外からの患者が圧倒的に多い三条市にある応急診療所の診療に多大の力を投入しておきながら、加茂市において最も重要な3つの特別養護老人ホームの週1回午後の診察さえできないとする五十嵐加茂市医師会長の発言は、極めて無責任なものであり、言語道断であります。また、これを聞いて、この問題に触れないことにした遠藤委員長の行為も甚だ無責任なものであり、この委員会の欠陥を露呈したものといわざるを得ません。

10 泉田知事さんにおかれましては、折角立派な御英断を以って県立加茂病院の全面建て替えを行うこととされたにもかかわらず、策定された「新潟県立加茂病院整備基本計画」が、このように大きな問題点を抱えたものであることに思いを致され、この基本計画に大修正を加えられた上で、市民・住民の幸せのために、立派な施設・器機の下で、立派な運用を行って下さいますよう衷心よりお願い申し上げます。